

～土壌分析を行うにあたって～

## 土壌分析のサンプルのとり方

### 1. 採土の時期

水稻：採土は「荒おこし～代かき前」の圃場がやや乾き気味の時に採土して下さい。

園芸：作物収穫後、後作の耕起前、施肥前に採土して下さい。

### 2. 採土の方法

○水稻：圃場の左右から5～10メートルはなれた3～5地点から、出来るだけゴミ（稲ワラ等）が入らないように、5～10cmの深さから均一に採土して下さい。

○露地：表面のゴミを取り除き、15cm程度の深さから、均一に採土して下さい。マルチ等の場合は表面の土は入れないで下さい。

○ハウス：定植床になるところで、耕起・砕土が行われた均一なものを採土して下さい。作物のあるときは、施肥部分をさけて、株間から採土して下さい。

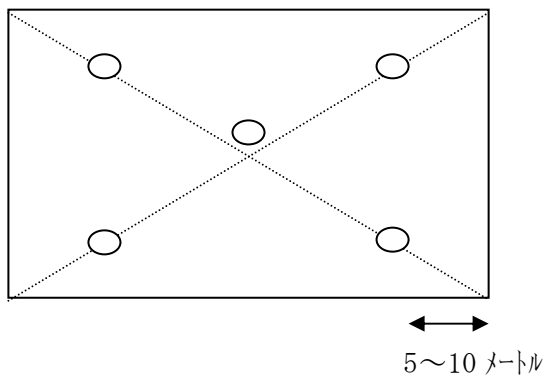
### 3. 調整

圃場全体を1サンプルとして、採土した土壌をよく乾かした後混ぜ、200～300g位をビニール袋に入れ、袋に氏名、圃場を記入して下さい

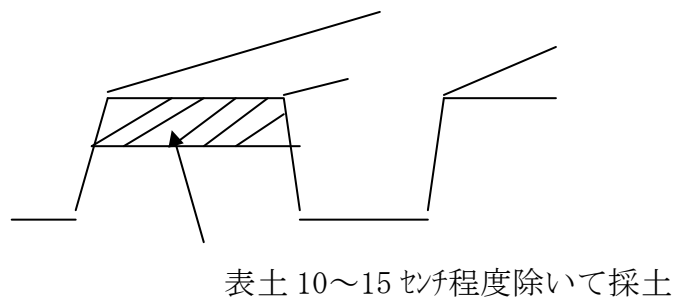
※肥料の粒は取り除いてください。

#### 採土地点の目安

##### (1) 水稻・露地作物の採土地点



##### (2) 栽培途中の採土



##### (3) 果樹園の採土地点

